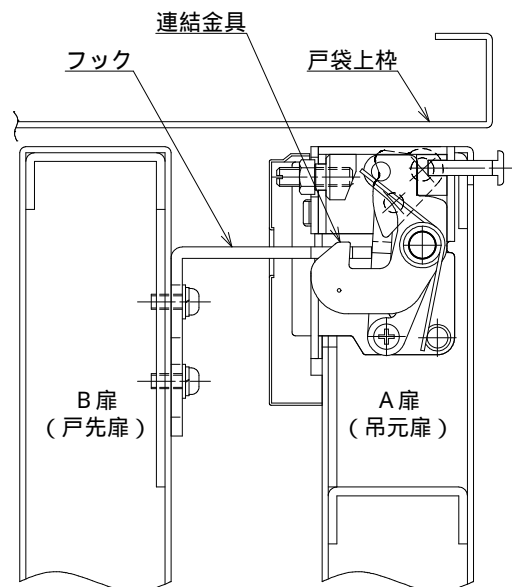


作動説明図

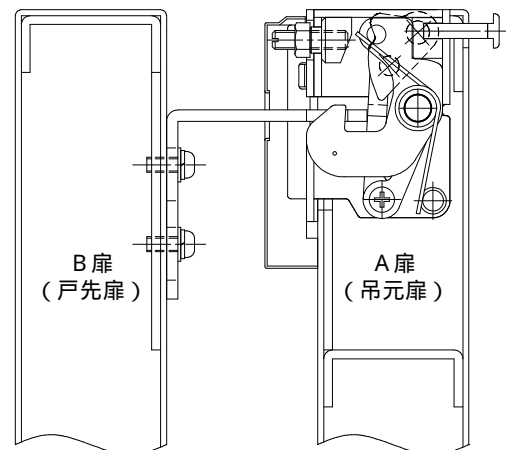
1. 戸袋収納状態

戸袋に収められているA扉（吊元扉）とB扉（戸先扉）は、連結金具とフックで連結され、戸袋上枠または戸袋壁に取り付けた電磁リリースにより、B扉（戸先扉）を保持しています。



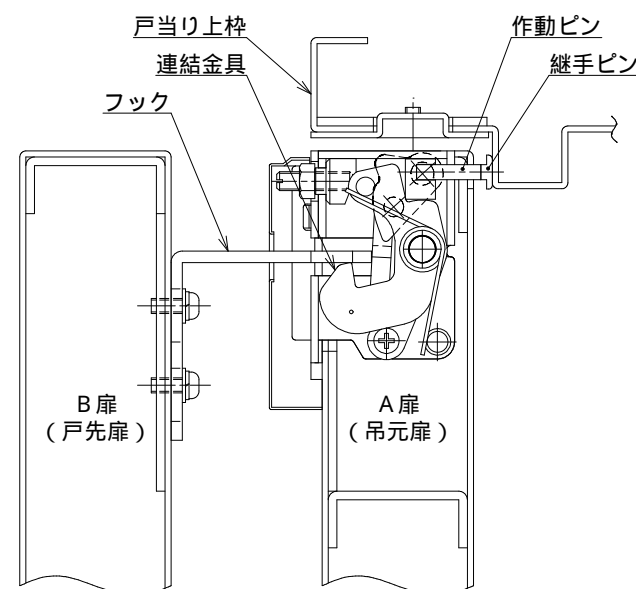
2. 戸袋から解放された状態

連動制御器からの作動信号により、電磁リリースが作動し、B扉（戸先扉）との保持が解除され、解放されたA扉（吊元扉）とB扉（戸先扉）は連結状態のまま、A扉（吊元扉）の中心吊型オートヒンジの閉扉力で閉鎖を始めます。



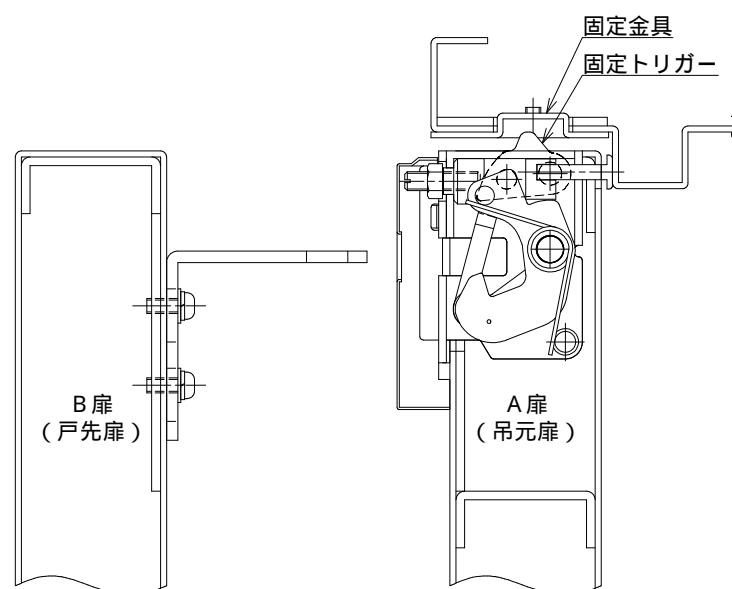
3. A扉（吊元扉）の閉鎖直前状態

作動ピンに取り付けた継手ピンが戸当り上枠に当たり始めると、作動ピンにより連結金具が押し下げられて、フックと連結金具の連結が外れ、A扉（吊元扉）とB扉（戸先扉）の連結が解除されます。



4. A扉（吊元扉）の閉鎖完了状態及びB扉（戸先扉）の閉鎖

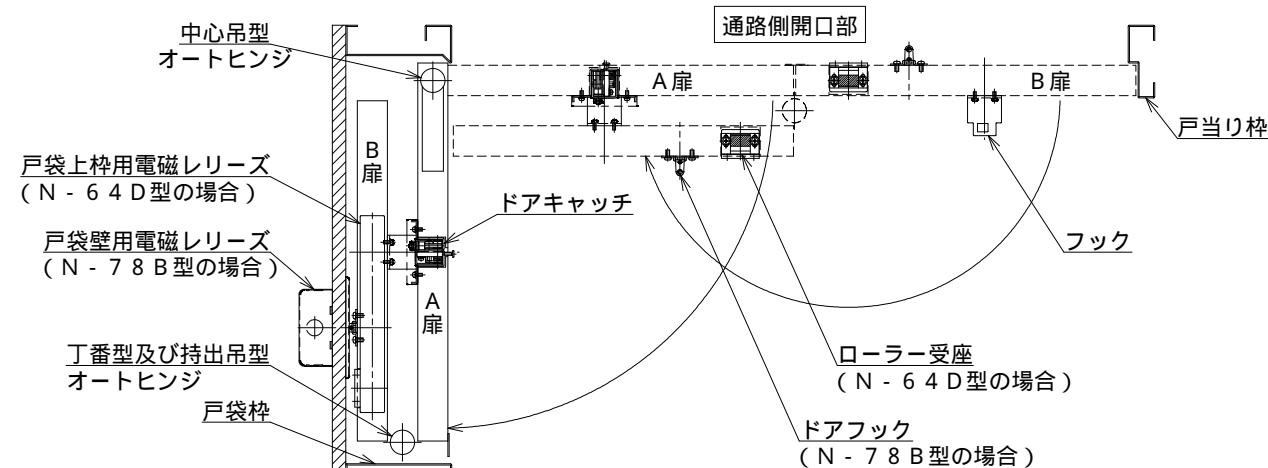
A扉（吊元扉）が閉鎖すると固定トリガーが押し上がり、固定金具と保持され、閉鎖完了状態になります。また、B扉（戸先扉）はA扉（吊元扉）から解放され、丁番型及び持出吊型オートヒンジの閉扉力で180°回転して、通路側開口部を閉鎖します。



戸袋への扉収納方法

1. 扉が通路側開口部を閉鎖した後、戸袋へ扉を収納する際は一体になった2枚の扉を折りたたんだから、収納してください。

- 1) 戸袋へ扉を収納する際は、B扉（戸先扉）をA扉（吊元扉）側に180°回転させ、折りたたんだ状態のまま、通路側開口部（戸当り枠）より引き出すとA扉（吊元扉）とB扉（戸先扉）が連結します。
- 2) 連結した状態で戸袋に収納することで、戸袋壁または戸袋上枠に取り付けた電磁リリースにより、B扉（戸先扉）が保持され、戸袋への収納が完了します。
〔但し、熱または煙感知器の作動により、連動制御器からの作動信号を電磁リリースが受信している間は、B扉（戸先扉）を保持することができないため、扉の収納はできません。〕

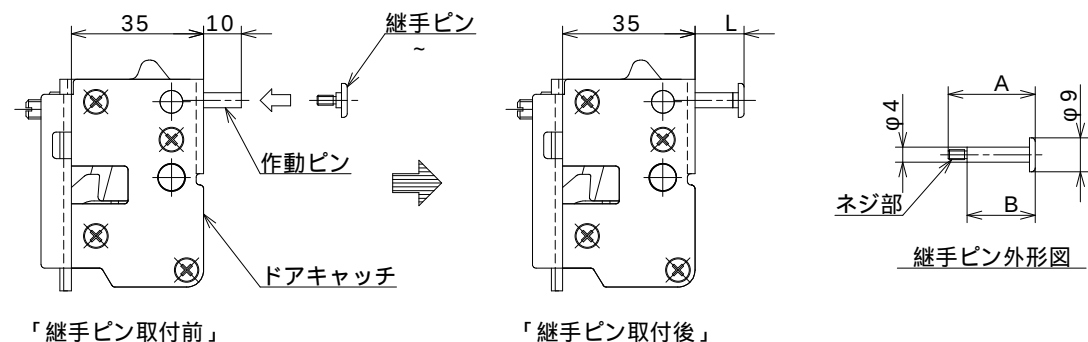


継手ピン取付図

1. 扉厚に合った付属部品の継手ピンをドアキャッチの作動ピンに取り付けることにより、扉厚40mm～60mmまでの対応が可能になります。
2. 扉厚が65mm以上の場合は、特注品扱いになります。

『 1 継手ピン取付方法 』

- 1) 下記、「扉厚と継手ピンの組み合わせ表」をご参照の上、付属部品の継手ピン ~ の中から、扉厚に合った継手ピン（1本のみ）をドアキャッチの作動ピンにガタ・緩み等がないように取り付けてください。



扉厚と継手ピンの組み合わせ表

扉厚寸法	継手ピン	L部寸法	A寸法	B寸法
40mm用	継手ピン	13mm	8mm	3mm
45mm用	継手ピン	18mm	13mm	8mm
50mm用	継手ピン	23mm	18mm	13mm
55mm用	継手ピン	28mm	23mm	18mm
60mm用	継手ピン	33mm	28mm	23mm

N-51CP型ドアキャッチ取付要領図 2

尺度	1/2	承認	田村	検図	三枝	設計	市川
			2005.1.26		2005.1.26		2005.1.22

ニッケイ株式会社 図番 AF-31549